

第3節 郡山城跡周辺の社会的環境

(1) 人口

大和郡山市の人口は、令和8年1月末日時点で81,718人（世帯数39,846戸）である。

過去の人口動態をみると、工業団地の整備や矢田丘陵の住宅開発を背景に増加した人口は平成7年の95,761人をピークに、平成17年に95,000人を下回ると、以後は減少傾向にある。『大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』によると、人口減少は今後もこれまで以上のペースで進むと見込まれる。令和27年の予測人口は63,000人で、ピーク時の65%となる。

人口比率における高齢者の割合は令和7年時点で34.59%であり、奈良県や全国の平均より高い。この割合は今後も緩やかに増加し、令和27年には40%に達する予測がある。生産年齢人口の割合は減少傾向で、令和22年以降は50%を下回る見込みである。一方、近年は高齢者以外の年代の転出超過が抑制されており、若い世代に居住地として選ばれ始めている傾向も認められる。

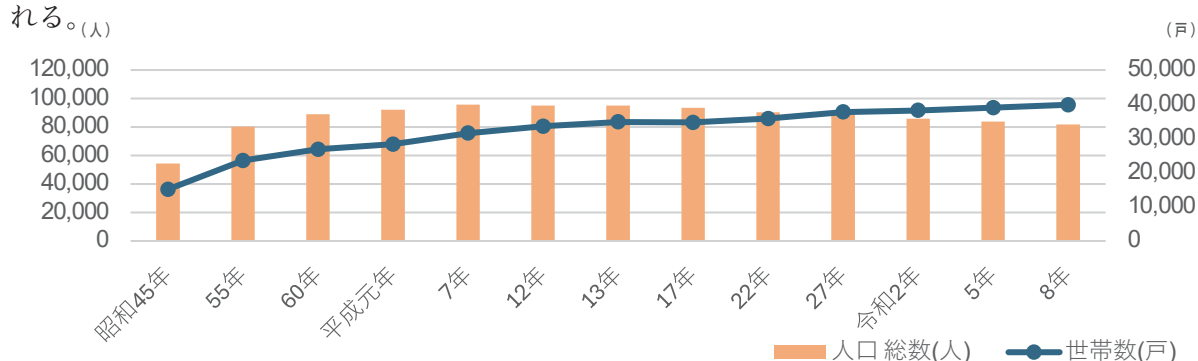


図 2-11 大和郡山市の人口・世帯数の推移（令和8年1月31日現在）

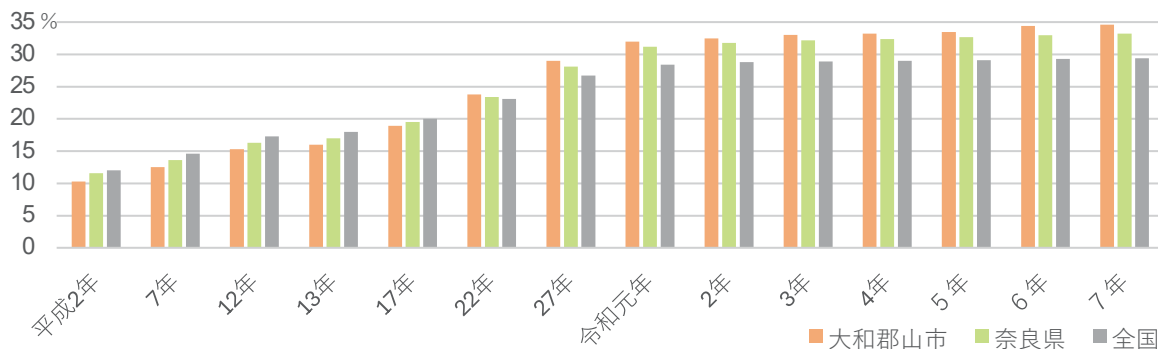


図 2-12 人口比率における高齢者割合の推移（令和7年9月15日現在）

※令和5年まで：市HPをもとに作成

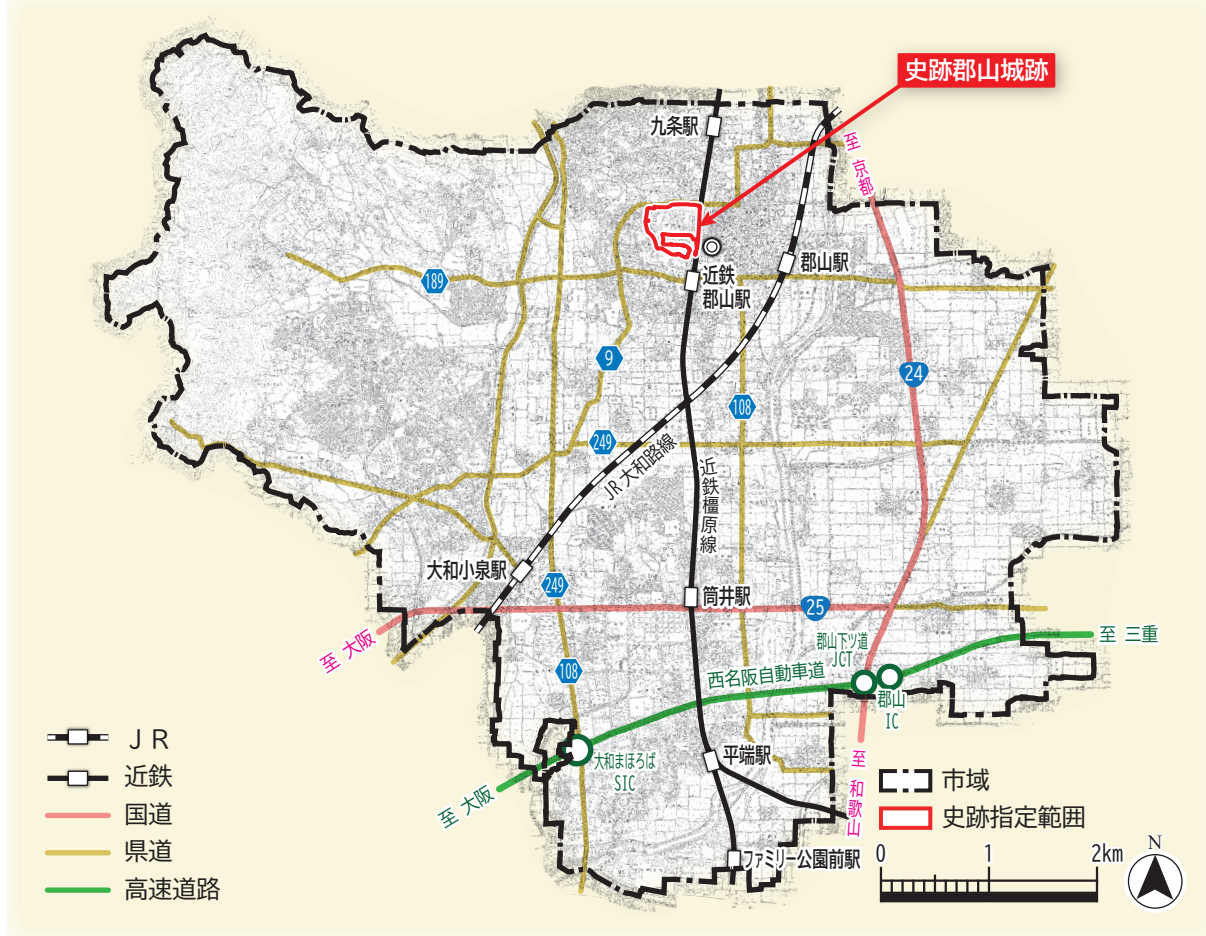
※令和6年：内閣府高齢社会白書をもとに作成 / 令和7年：総務省統計局をもとに作成

(2) 交通

大和郡山市を貫く広域幹線道路には、京都と和歌山を南北に結ぶ国道24号と、三重と大阪を東西に結ぶ国道25号がある。大阪から天理を通じて三重につながる西名阪自動車道が市域南部を通り、奈良と大阪を結ぶ第二阪奈道路にも容易にアクセスできる。これらの幹線道路に、県道9号大和郡山斑鳩線、県道108号大和郡山広陵線、県道189号矢田寺線、県道249号大和郡山環状線などが接続して幹線道路体系を形成している。近年は、西名阪自動車道に、大和まほろばスマートインターチェンジや郡山下ツ道ジャンクションが整備され、利便性が向上している。

鉄道網は、大阪と京都を結ぶJR大和路線と、橿原と奈良を結び京都に通じる近鉄橿原線が、市域を南北に通っている。大和郡山市域には、JR大和路線の郡山駅と大和小泉駅、近鉄橿原線の九条駅、近鉄郡山駅、筒井駅、平端駅、ファミリー公園前駅の7駅がある。平端駅で近鉄天理線に接続し、天理方面にいたる。郡山城跡はこのうち郡山駅と近鉄郡山駅から至近の位置にある。

大和郡山市へのアクセスは、自動車・電車ともに利便性が高く、大阪からは30～40分、京都からは40～60分、名古屋からでも自動車で2時間程度である。本計画地は鉄道駅に近く、JR、近鉄どちらも駅から徒歩でアクセスできる。自動車利用においても高速自動車道や幹線道路が充実しているため利便性が高い。しかし、史跡指定地付近は駐車場が限られ、さらに城郭地割がよく残るために道路が入り組んでいる上に道幅が狭いなど、課題もある。



※一般社団法人大和郡山市
観光協会公式ウェブサイトを参考に作成

(3) 指定文化財

大和郡山市には、令和7年9月時点で、国指定文化財が38件、奈良県指定文化財が36件、大和郡山市指定文化財が56件、国登録有形文化財が15件ある。いずれも市にとって貴重な歴史資源である。

表 2-3 大和郡山市の指定文化財

種 別		国指定	県指定	市指定	国登録
有形文化財	建造物	9	15	3	15
	彫刻	20	7	16	
	絵画	3	1	13	
	工芸品	1	4	3	
	書籍・典籍			10	
	考古資料			1	
	歴史資料		2	1	
	石造物			4	
史跡名勝天然記念物	史跡	3	3	5	
	名勝	1			
有形民俗文化財		1	4		
合 計		38	36	56	15

表 2-4 大和郡山市の国指定文化財

区分	No.	名称	員数	所在地	所有者	時代区分	指定年月日
建造物	1	春日神社本殿	1棟	矢田町	(宗)春日神社	室町後期	大9.4.15
	2	小泉神社本殿	1棟	小泉町	(宗)小泉神社	室町後期	大9.4.15
	3	慈光院 (書院、茶室)	2棟	小泉町	(宗)慈光院	寛文 寛文4(高林 庵様伝記)	昭19.9.5
	4	旧臼井家住宅 (旧所在 高市郡高取町)	2棟	矢田町(大和民 俗公園構内)	奈良県	元禄頃 江戸中期	昭49.5.21
	5	旧岩本家住宅 (旧所在 宇陀郡室生村)	1棟	矢田町(大和民 俗公園構内)	奈良県	嘉永頃	昭54.5.21
	6	松尾寺本堂	1棟	山田町	(宗)松尾寺	建武4	明35.7.31
	7	矢田坐久志玉比古神社 (本殿、末社八幡神社社殿)	2棟	矢田町	(宗)矢田坐久志 玉比古神社	室町前期	明41.4.23
	8	五輪塔覆堂	1棟	長安寺町	大和郡山市	天正12~13	昭19.9.5
	9	額安寺五輪塔	8基	額田部寺町	(宗)額安寺	永仁5	昭36.3.23
彫刻	10	木造地藏菩薩立像	1躯	矢田町	(宗)金剛山寺	平安	明39.9.6
	11	木造阿弥陀如来坐像	1躯	矢田町	(宗)金剛山寺	平安	明39.9.6
	12	木造十一面観音立像	1躯	矢田町	(宗)金剛山寺	平安	明39.9.6
	13	木造地藏菩薩立像	1躯	矢田町	(宗)金剛山寺	平安	大13.4.15
	14	木造閻魔王倚藏	1躯	矢田町	(宗)金剛山寺	鎌倉	昭15.10.14
	15	木造司録坐像	1躯	矢田町	(宗)金剛山寺	鎌倉	昭15.10.14
	16	木造阿弥陀如来及両脇侍立像	3躯	柏木町	(宗)光明寺	室町	大11.4.13
	17	木造伝善導大師坐像	1躯	柏木町	(宗)光明寺	室町	大11.4.13
	18	木造虚空蔵菩薩坐像	1躯	矢田町	(宗)北僧坊	平安	明39.9.6
	19	木造阿弥陀如来坐像	1躯	洞泉寺町	(宗)浄慶寺	平安	明31.4.23
	20	木造薬師如来坐像	1躯	矢田町	(宗)東明寺	平安	明39.9.6
	21	木造地藏菩薩坐像	1躯	矢田町	(宗)東明寺	平安	明39.9.6
	22	木造毘沙門天立像	1躯	矢田町	(宗)東明寺	平安	明39.9.6
	23	木造吉祥天立像	1躯	矢田町	(宗)東明寺	平安	明39.9.6
	24	木造阿弥陀如来及両脇侍立像	3躯	洞泉寺町	(宗)洞泉寺	鎌倉	大11.4.13
	25	木造毘沙門天立像	1躯	矢田町	(宗)南僧坊	平安	明39.9.6
	26	木造大黒天立像(大黒堂安置)	1躯	山田町	(宗)松尾寺	鎌倉	明42.9.21
	27	木造十一面観音立像	1躯	山田町	(宗)松尾寺	平安	明42.9.21
	28	木造十一面観音立像	1躯	奈良国立博物 館寄託	(宗)地福寺	平安	昭54.6.6
	29	木造二天王立像(頭部欠)	2躯	矢田町	(宗)金剛山寺	奈良	令2.9.30
絵画	30	絹本着色矢田地蔵縁起	2幅	矢田町	(宗)金剛山寺	鎌倉	昭38.2.14
	31	絹本着色釈迦八大菩薩像	1幅	奈良国立博物 館寄託	(宗)松尾寺	高麗	明42.4.5
	32	絹本着色阿弥陀聖衆来迎図	1幅	奈良国立博物 館寄託	(宗)松尾寺	鎌倉	昭49.6.8
工芸品	33	紫檀塗螺鈿厨子(千体仏厨子)	1基	丹後庄町	(宗)千體寺	鎌倉	明43.4.20
民俗文化財	34	吉野林業と林産加工用具	1,908点	矢田町	奈良県	近世~近代	平19.2.6
史跡	35	額田部竊跡		額田部北町	大和郡山市ほか	鎌倉	昭4.4.2
	36	郡山城跡		城内町ほか	大和郡山市ほか	安土桃山	令4.11.10
名勝及び史跡	37・38	慈光院庭園		小泉町	(宗)慈光院	江戸	昭9.12.28



[建造物] 矢田坐久玉比古神社



[建造物] 五輪塔覆堂



[彫刻] 木造阿弥陀如来坐像



[史跡] 額田部窠跡



[名勝および史跡] 慈光院庭園

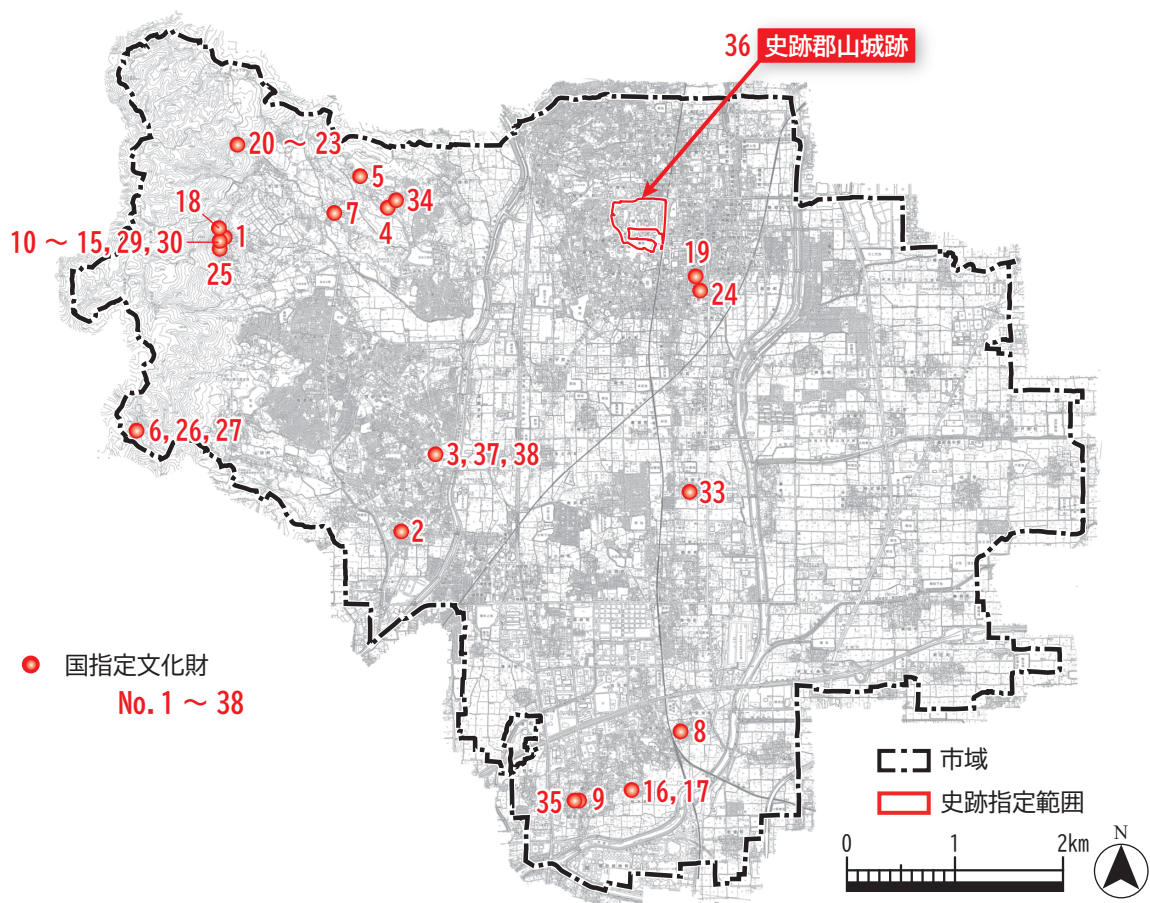


図 2-14 大和郡山市の国指定文化財

(S=1/70,000)

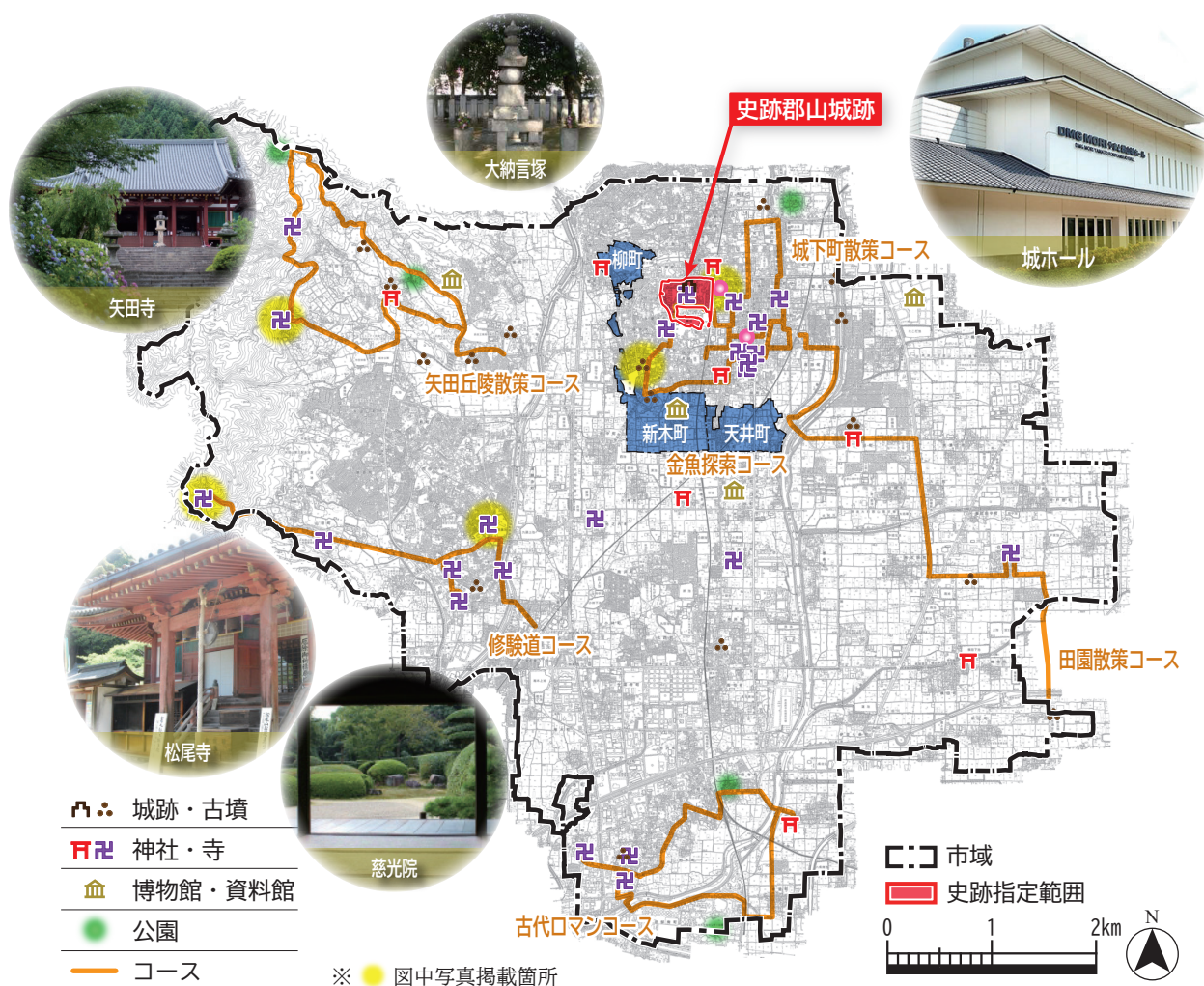
(4) 観光・レクリエーション

大和郡山市内には、多様な景観資源がある。郡山城跡を中心として周辺の旧城下町に所在する町家や寺社、町割りも、城下町としての郡山の歴史的景観を形成している。市街地の外縁に広がる田園風景には金魚養殖池が多く分布し、特徴的な田園景観を形成している。稗田や若槻に代表される環濠集落は市内各所に点在し、本市独特の集落景観を形成している。

文化財は、貴重な観光資源でもある。郡山城跡は本市を代表する観光資源であり、観光客も多い。旧城下町や城跡に関連する歴史資源をめぐる道中も、多くの来訪者がある観光資源である。矢田丘陵の寺院も市を代表する観光資源であり、矢田寺の紫陽花や松尾寺のバラなど、四季の移ろいを楽しめる境内地は、人気の観光スポットである。慈光院は石州流茶道の聖地であり、豊かな景観と合わせて来訪者が多い人気スポットである。

本市の特徴的な産業である金魚養殖は、観光資源にもなっている。夏は金魚すくいで盛り上がり、県内外から多くの参加者が訪れる。市内各所の金魚マンホールは人気を博し、旧城下町の柳町商店街は金魚ストリートとして賑わっている。民営の郡山金魚資料館も来訪者が多い。

レクリエーション活動の施設には、総合公園や運動公園をはじめ、市内各所にグラウンドやスポーツ施設がある。九条公園や、矢田総合公園、まほろば健康パークは、市外からの利用者も多い。矢田丘陵には、自然を活かし、ハイキングコースや、矢田山遊びの森、里山の駅「風とんぼ」が整備されている。文化施設は、DMG MORI やまと郡山城ホールが整備され、図書館やホール、武道場を併設している。市内各所の公民館は、地域の文化交流の場である。



※ 図中写真掲載箇所

図 2-15 大和郡山市の観光・レクリエーション

※やまところりやまデジタルナビ
一般社団法人和郡山市観光協会公式ウェブサイト
DMG MORI やまと郡山城ホール HP をもとに作成

(5) 公園・緑地

大和郡山市の緑地は平成 30 年度末時点で 3,199.8ha あり、市域面積の約 75% を占めている。そのうち 1 割強に当たる 341.9ha が公園等の施設緑地である。

公園緑地には都市公園、その他の公園、児童遊園がある。これらの面積の合計は 73.5ha で、市域面積の 1.7% に相当する。市民一人当たりの面積は 8.51㎡である。都市公園は 157 箇所が整備されている。このうち、大和民俗公園とまほろば健康パークは奈良県が管理し、その他を市が管理している。市が管理する公園にも矢田総合公園や九条公園のような規模が大きい公園があり、市民一人当たりの都市公園面積は 7.34㎡となる。県内の他市町村と比べても大規模な公園が多い点が特徴的である。児童遊園等は 56 箇所 6.7ha があり、宅地や田畑、寺社境内地といった多様な形態で地域の緑地として重要な機能を担っている。

本計画地が位置する市の北部は、緑地面積の比率が他の地区と比べて低い。主要な駅が立地する中心市街地で農林が少ないことに起因している。ただし、市街化区域内の緑地面積に限ってみると、24.4% が緑地として確保されている点も特徴的である。史跡指定範囲は、市内でも屈指の規模の都市公園区域であり、緑地が少ない北部地区において重要な役割を担っている。

市の今後の緑地政策においては、本計画対象地となる史跡や城下町の街並み、外堀緑地、さらには市西部の丘陵地や寺社など、市内の広域に点在する緑資源や歴史資源をつなぎ合わせた「緑のネットワーク」の形成が、大きな課題となっている。

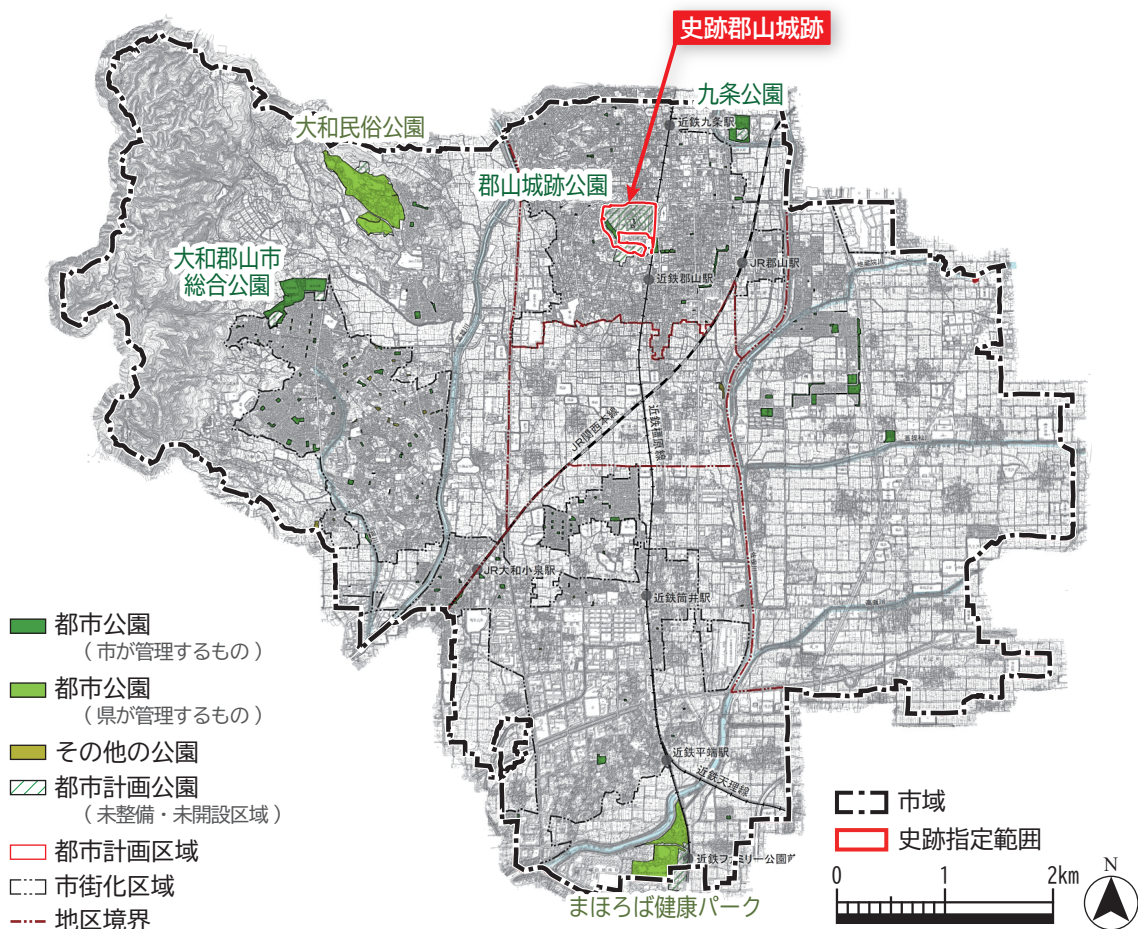


図 2-16 大和郡山市の公園 (S=1/70,000)
※都市公園などの分布(『緑の基本計画』(令和3年)より)をもとに作成